

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和2年10月15日(2020.10.15)

【公開番号】特開2020-8363(P2020-8363A)

【公開日】令和2年1月16日(2020.1.16)

【年通号数】公開・登録公報2020-002

【出願番号】特願2018-127977(P2018-127977)

【国際特許分類】

G 0 1 S 7/481 (2006.01)

G 0 1 S 7/484 (2006.01)

【F I】

G 0 1 S 7/481 A

G 0 1 S 7/484

【手続補正書】

【提出日】令和2年9月1日(2020.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光測距装置(10, 10B)であって、

光を照射する複数の発光部(16)が、隣接する前記発光部の間に間隙を設けて配列された発光素子(18)と、

前記光が透過する透過部(32, 90)と、

前記発光素子と前記透過部との位置関係を変更する駆動部(34, 34B)と、

反射した前記光を受光する受光部(12)と、を備え、

前記駆動部によって、前記発光素子と前記透過部との位置関係を変更することにより、前記光の照射経路を前記配列の方向に沿って変更し、

さらに、前記透過部とは別部材であり前記光を略平行光にする出射レンズを備え、

前記駆動部は、前記透過部を駆動し、

前記透過部の駆動により前記発光素子と前記透過部との位置関係が変更することによって、前記透過部が前記光を屈折させずに透過させることと、前記透過部が前記光を屈折させて透過させることと、が切り替わる、光測距装置。

【請求項2】

請求項1に記載の光測距装置であって、

前記透過部と前記発光素子との間に前記出射レンズが設けられている、光測距装置。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の光測距装置であって、

前記透過部の駆動による前記照射経路の変動幅(W)は、0 μmより大きく100 μm以下である、光測距装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の一形態によれば、光測距装置(10, 10B)が提供される。この光測距装置は、光を照射する複数の発光部(16)が、隣接する前記発光部の間に間隙を設けて配列された発光素子(18)と、前記光が透過する透過部(32, 90)と、前記発光素子と前記透過部との位置関係を変更する駆動部(34, 34B)と、反射した前記光を受光する受光部(12)と、を備え、前記駆動部によって、前記発光素子と前記透過部との位置関係を変更することにより、前記光の照射経路を前記配列の方向に沿って変更し、さらに、前記透過部とは別部材であり前記光を略平行光にする出射レンズを備え、前記駆動部は、前記透過部を駆動し、前記透過部の駆動により前記発光素子と前記透過部との位置関係が変更することによって、前記透過部が前記光を屈折させずに透過させることと、前記透過部が前記光を屈折させて透過させることと、が切り替わる。